



くらしのヒント!

J A 事業 Q & A



春作業の繁忙期が近づいていますが、
農業機械対応をどうしたらよいですか?



本格的な稼働を前に農業機械が問題なく動くか確認しましょう。

農作業は一斉に行われますので、早いうちに農業機械のメンテナンスを行いましょう。

なお、各農機センターでは、春の繁忙期の休日対応を行いますが、就業時間以外の受付はできませんので、あらかじめご了承ください。ご理解とご協力をお願いいたします。(本誌16ページを参照ください。)



千厩農機センター
小野 翔平

ケアコンシェルじゅ



夢中でひな壇を積み上げ

お内裏さまとおひなさま、三人官女、五人ばやしのひな壇を、早く正確に積み上げるゲームをテーブル対抗で行いました。



〒029-0803 一関市千厩町千厩字境田 153-12
TEL 0191-52-5668

春色に飾り付け

壁紙を制作しました。きれいな色の花びらを一枚一枚貼り付けて、デイサービスで過ごす部屋が春色に包まれました。



〒021-0901 一関市真柴字原下 4-1
TEL 0191-31-1538

発信! 情報 ぷらざ

あぐりジャーナル

“つくる”をテーマにJA役員が思いを綴ります



協同組合の価値を高める

理事
今野 典子
(川崎)

2月26日に発生した大船渡の山林火災は、12日目に鎮圧となりましたが、焼失面積は市全体の約9%に当たる2900畝。最大4596人に避難指示が出され、建物被害は210棟に上りました。東日本大震災から14年、度重なる災害に遭われた大船渡の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

今年、国連が定めた「国際協同組合年」です。1月の第70回J A 全国女性大会の大会宣言でも『自らと仲間、そして、地域の「幸せ」を目指して、J A を拠りどころに「協同の力」を発揮し、全国の仲間と行動することを宣言します』という

われしました。日本農業新聞の論説でも「国際協同組合年」に対する記事があり、国連は格差と貧困、食料安全保障など世界が直面する課題や、持続可能な開発目標(SDGs)への協同組合の貢献を高く評価しているとあります。国内では延べ1億人を超す人々が、J A ・生協・森林組合・漁協・労働金庫・信用金庫などの協同組合に加入し、さまざまな事業を利用していますが、認知度は低く課題となっています。国際年の統一テーマである「より良い社会を築く」ために、協同組合の価値と活動を広く発信することに努めていきたいものです。

移動金融店舗車 『このみん号』 運行スケジュール



取扱業務

貯金の入出金（現金払戻の限度額をお1人あたり30万円とさせていただきます）、定期積金の掛込、貯金通帳の記帳・繰越、電話料金・水道料金等の公共料金（電気料金除く）、県税・市税・町税等の納付、相談業務（取次業務内）

*運行スケジュールについては、天候その他諸事情により、予告なく変更・中止させていただく場合がございます。ご了承ください。

お問い合わせ
JA金融課 ☎23-3007

5月 上段：午前(10:00~11:30)、下段：午後(13:00~14:30)

月	火	水	木	金
  <small>©よりぞう</small>			1 永井出張所 黄海支店	2 巖美出張所 —
	5 お休み	6 お休み	7 奥玉市民センター 室根支店	8 永井出張所 黄海支店
12 巖美出張所 萩荘支店	13 川崎出張所 津谷川ふれあい店	14 奥玉市民センター 室根支店	15 永井出張所 黄海支店	16 巖美出張所 —
19 巖美出張所 萩荘支店	20 川崎出張所 —	21 奥玉市民センター 室根支店	22 永井出張所 黄海支店	23 巖美出張所 —
26 巖美出張所 萩荘支店	27 川崎出張所 津谷川ふれあい店	28 奥玉市民センター 室根支店	29 永井出張所 黄海支店	30 巖美出張所 —

※旧店舗名で記載しております。

かがやく人をご紹介します

皆さんの声 お届けします!

☑ 表紙の小学生消防士、リリしく、ほほ笑ましいです。
大東町 Kさん(80代)

☑ もうすぐ春の農作業が始まります。今年も米が高く売れると良いですね!期待しています。
室根町 Oさん(70代)

☑ 春らしくなりましたね。ウグイスの鳴き声で春を感じます。楽しみです。
藤沢町 Oさん(60代)

☑ クロスワード大好き!!頭の体操に良いです。
巖美町 Sさん(60代)

☑ 災害はいつ来るか分からない。「備えあれば憂いなし」ですね。
千厩町 Sさん(60代)

☑ 先日一関の風景画を描き、美術館の公募に出して優秀賞をいただきました。一関の未来を応援しています。
萩荘 Kさん(10代)

すまいるギャラリー



キラリ

自主性のある子どもを育てるサポートをしたい

かとうみのり
加藤穂実さん(18)
川崎町薄衣

幼いところにいることやお世話になった先生と一緒に働きたいと思、保育士を目指し、この春、短期大学に進学しました。カリキュラムがたくさんあり、「質問をたくさんしてくる子どもに育つサポートをしたい」と希望にあふれています。
小学生からソフトボールを続けてきた穂実さん。プロ野球や高校野球の試合観戦が楽しみです。